

かけはしがわ
梯川重点区間改修事業の促進
ひきてい
～大規模引堤による治水安全度の向上～
梯川水系梯川（石川県小松市）

1. 事業の概要

1) 目的

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。

このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している前川合流点～白江大橋間（1.0km～6.0km迄）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。

また重点改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

2) 全体計画

築堤、旧堤撤去、橋梁架替、排水機場改築、分水路整備等

2. 事業の経緯

平成8年度の着手以降、河川改修に必要な用地取得、補償や引堤による堤防整備を実施しています。平成16年度までに鶴ヶ島地区（左岸1.4k～2.1k）、泉・丸の内地区（左岸2.2k～2.8k）の旧堤撤去が終了しています

3. 平成17年度の実施内容

平成17年度は、鶴ヶ島地区～泉・丸の内地区間で唯一となる堤防撤去未実施箇所（左岸2.1k～2.2k）の解消に向け、九竜橋川排水機場の移設を推進するとともに、石川県と共同で小松大橋の架替を推進します。

